

木材価格市況標準相場

令和6年10月3日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

(1) 値下げ品目	8
北洋材・北欧材	1
合板	7

○今月の市況動向

9月の商況は、先月同様に荷動きは低調との報告が多くを占めたが、プレカットでは、6～8月に比べると受注・稼働共に、1～2割UPしたとの報告もあった。

(国産材) 秋田では、製材工場と合板工場の生産減により、原木の在庫が積み上がっている。構造材では、先月同様、値頃感のある製品に荷動きの回復が見られる様になった。

(輸入材) 北欧材においては、コスト高の契約分が入荷して来ているが、埠頭在庫の増加と市況停滞感もあり、荷もたれ感の強いW/W間柱が値下げとなった。SPFにおいては、10月積先物契約のドル価は上げ。国内在庫も少ないが、動きも少なく不足感は無いとの報告。広葉樹・米材役物でも、一部品不足があるものの、荷動きは低調とのこと。

(合板) 国内針葉樹合板の8月生産統計は、生産量が出荷量を上回った。在庫量も19.3万㎡(前年比118.1%)となり、再度増加に転じた。輸入合板も国内合板に引きずられ、荷動きは盛り上がり欠けている。現地通貨がドルに対して強く、メーカーの採算は悪化しているとの報告であった。